

タバコ税アップの影響 ～タバコの本数減らすと現状維持で二分～

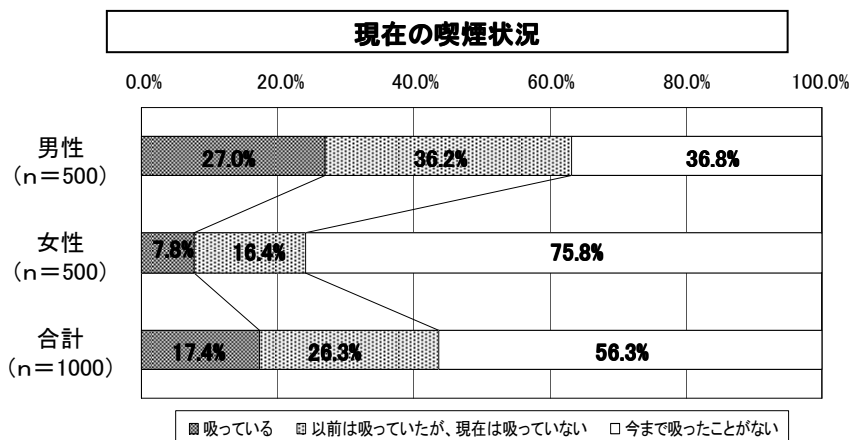
株式会社かんでんCSフォーラム(本社:大阪市中央区、社長:北尾伸二)は、自主調査『生活に関する調査(タバコ税アップの影響)』を実施しました。(2010年10月29日～11月8日)

この調査において、全国の男女1000人に、現在の喫煙状況について聞いたところ、「タバコを吸っている」17%、「過去にタバコを吸っていたが、現在は吸っていない」26%、「今まで吸ったことがない」56%ということがわかりました。

現在もタバコを吸っていると回答した人を対象に、今回のタバコ税導入で1日に吸うタバコの本数に変化があったかどうか聞いたところ、「(タバコを吸う本数が)減った」45%、「(タバコを吸う本数は)変わらない」47%と二分した結果となりました。

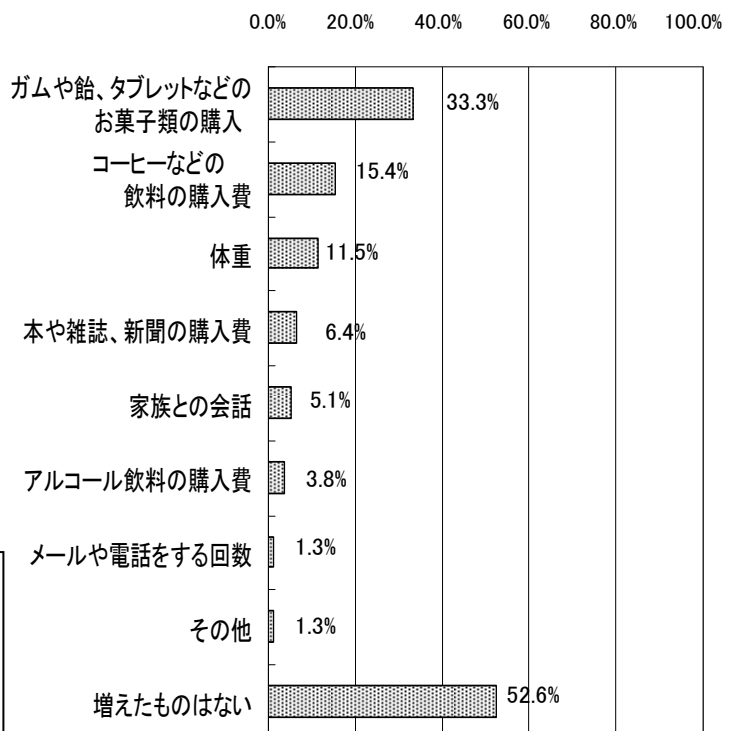
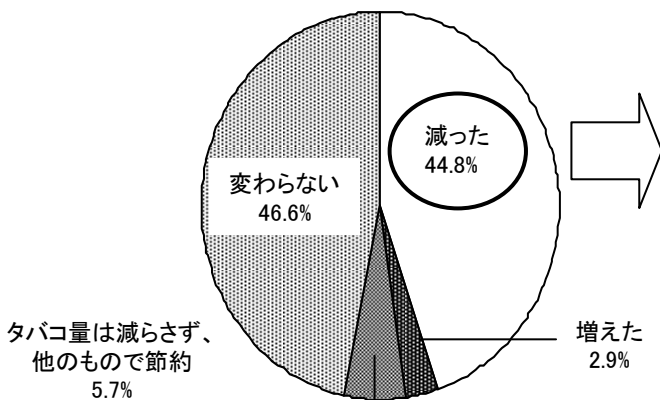
タバコを吸う本数が減ったと回答した人を対象に、増えたものはないか聞いたところ、「増えたものはない」53%と最も多く、以下、「ガムや飴、タブレットなどお菓子類の購入費」33%、「コーヒーなどの飲料の購入費」15%の順になりました。タバコを減らしたための口寂しさを補うために、菓子や飲料の摂取量が増え、体重も増えたという結果も出ています。

<回答者:かんでんCSフォーラム「生活者モニター」のうち、全国30歳以上男女1000人>



**【喫煙者】
タバコ税導入後のタバコを吸う本数の変化(n=174)**

**【喫煙者でタバコを吸う本数が減った人】
タバコを減らして、増えたもの:複数回答(n=78)**



よろしければ、記事にお使い下さい。
(その際には下記問合せ先までご一報ください)
★その他、年代別の結果、調査に関する詳細などについても、
ご興味があれば是非お問い合わせください。

<問合せ先>
株式会社かんでんCSフォーラム
マーケティング事業部 担当:水野、大平
TEL:06-6121-7688 FAX:06-6282-6300
メールアドレス marketing@kcsf.co.jp